

## 建設産業グローバルビジョン講演会「世界のリーダーと語る建設産業のグローバル戦略」～世界のコンサルタントに学ぶ編～開催報告

2015年2月27日に土木学会国際センターおよび建設マネジメント委員会主催の建設産業グローバルビジョン講演会「世界のリーダーと語る建設産業のグローバル戦略」～世界のコンサルタントに学ぶ編～を開催しました。

我が国の建設産業においては、国内での新規建設投資の縮小が見込まれる中、海外事業が国内事業と並ぶ重要なビジネスとしての位置づけを確保するために、いわゆる政府開発援助（ODA）事業に頼ることなく、世界の建設市場に対する戦略的な行動を継続して実践することが求められています。この現状に鑑み、本講演会は、世界のグローバル企業のトップリーダーとともに、建設産業におけるグローバル戦略を語り、我が国の建設産業の海外展開戦略を考えるきっかけを提供することを目的として実施されました。

今回の講演会には、「世界のコンサルタントに学ぶ編」と題し、グローバルなマーケットを有するスペインのコンサルタント大手 TYPSA 社 CEO であり、国際コンサルティング・エンジニア連盟（FIDIC; International Federation of Consulting Engineers）会長を務める Pablo Bueno 氏を招聘しました。

Bueno 氏には、コンサルタント企業の海外展開戦略の在り方について TYPSA 社における海外展開を事例としてご講演いただきました。引き続き、廣瀬典昭土木学会次期会長および福本勝司建設マネジメント委員会委員長により、国際的に活躍する海外企業との比較などを通じて、我が国建設産業の海外展開の現状と今後について講演が行われました。



講演中の Pablo Bueno 氏

その後、福本委員長をファシリテーターとして、七條牧生氏（国土交通省）、廣谷彰彦氏（オリエンタルコンサルタンツグローバル）、小澤一雅氏（東京大学大学院）を加えた産官学6名によるパネルディスカッションが実施され、我が国のコンサルタントを含む建設産業の海外展開をいかに進めるかについて議論が展開されました。

今回の講演会は220名を超える参加者を集めて開催され、質疑応答では活発な意見交換が行われるなど大変盛会でした。



パネルディスカッションの様子

今回“コンサルタント編”として開催した本講演会シリーズでは、“ゼネラルコントラクター編”などを引き続き実施する予定です。今後の開催時期などにつきましては、決まり次第、土木学会ウェブサイトにて案内します。

【記 土木学会国際センター・建設マネジメント委員会】